



平成 28 年 10 月 25 日
杉並区広報課

燃料電池自動車「H₂なみすけ号」がデビュー！

杉並区と㈱日通自動車学校が、「燃料電池自動車を活用した環境事業の実施に関する協定」を締結しました。

本日、10月25日（火曜日）午前11時30分から杉並区役所にて、田中良・杉並区長と辻幸則・日通自動車学校代表取締役社長が出席し、協定の調印式が行われました。自治体と自動車学校が燃料電池自動車を活用し、環境学習に取り組むのは全国的にみても珍しい事例です。正午からは、導入する燃料電池自動車「H₂なみすけ号」の出発式を執り行いました。

杉並区内での二酸化炭素排出量のうち、運輸部門からが約2割を占めており、その内の約9割が自動車からの排出です。このため、区は自動車におけるクリーンエネルギー利用を促すため、次世代自動車のひとつである水素で動く燃料電池自動車（ホンダ・クラリティ）を公用車として導入しました。

本日、行われた調印式では、田中区長と辻日通自動車学校代表取締役社長の双方が協定書に署名をしました。

出発式では、田中区長が「この車が、杉並区の環境事業のシンボルとして、皆様に愛され、親しまれるよう、また、次世代エネルギーである水素の魅力を知っていただけるよう、努めてまいります」と挨拶し、燃料電池自動車を活用した環境事業の協働実施に向け、辻日通自動車学校代表取締役社長と固い握手を交わしました。

「H₂なみすけ号」は、区の環境事業や11月5、6日に開催される「すぎなみフェスタ」等のイベントで活用するほか、協定締結先で区内唯一の指定教習所である日通自動車学校（杉並区宮前）において、環境学習を組み合わせた乗車体験を実施します。これを機に、多くの皆様に水素エネルギーを身近に感じていただけるよう取り組んでいきます。



問い合わせ先

環境部環境課環境推進活動係 （電話）03-3312-2111